

芽室町農業振興計画策定検討会議 第3回委員会（書面開催）における意見一覧

役 職	氏 名（敬称略）	意 見 内 容
委員長	宇野 克彦	意見なし。
副委員長	橋本 正彦	目標とする指標の中で1戸当の経営耕地面積がR6年・R10年で単純に経営耕地面積÷農家戸数でなく、農家戸数に新規就農の数が加えられて計算されているのはなぜか。
委員	川東 浩幸	十勝地区の農業特区について、申請の検討などが？
委員	島部 亨	意見なし。
委員	西村 直樹	【全体】 ○一つ一つの文章が長く（「策定の趣旨」や「芽室町の農業について」などの箇所）、難解な文章となっています。文章表現を工夫してください。 ○「・・・や・・・や・・・」「・・・と・・・と・・・」など、同じ助詞を繰り返して用いている文章が散見されます。読みづらいので文章表現を工夫してください。 ○「・・・います。」「・・・おります。」⇒文体を統一してください。 【P.8 (9)農業生産額の推移】 ○「農業生産額の推移は、主要農産物は増加傾向にあります。」⇒主語が二つあるため内容が読み取れません。文章表現を工夫してください。 【P.10 2 目標とする指標】 ○目標とする指標のうち、令和10年度末の乳用牛飼養頭数が令和6年度末に比べて減少している(7,058頭→6,980頭)ことに違和感を覚えます。他の指標を増加または維持としている中で、何故、乳牛飼養頭数の目標だけ減少としたのでしょうか。 【P.11～40 IV 施策の基本方向と事業展開】 ○「・・・図ります。」「・・・推進します。」と表現している取り組みがある一方で、「・・・検討します。」「・・・検討を進めます。」とした表現にとどめている取組があります。表現の違いが意味するところを教えてください。「・・・検討します。」「・・・検討を進めます。」とした取組については、令和3～10年度までの間は検討のみで、実行に移すのは11年度以降になるということでしょうか。 【P.17 課題(2) 変化する国際情勢】 ○理由のところに、「農産物の輸出拡大を目指す」という記述がありますが、輸出拡大に向けた取り組みが記載されていません。輸出拡大に向けた具体的な取り組みを記述する必要はないでしょうか。

役 職	氏 名（敬称略）	意 見 内 容
	西村 直樹	（続き） 【P. 18 取組② 高収益作物の導入支援】 ○P. 11 の「土づくりの支援」の現状やP. 12 の「適正な輪作体系の維持」の中に「省力化作物及び高収益作物への作付が偏重し」という表現があります。土づくりや適正な輪作体系に関する施策を進める際には、高収益作物の作付を増やすことを悪と捉える一方で、「変化する国際情勢への対応」に関する施策を進める際には、高収益作物の作付を増やすことを善と捉えています。2つの矛盾する施策を同時に進めることができるのでしょうか。 【P. 18 経営支援体制の強化】 ○「国が設置した…農業経営相談所…身近なものではありません。」という記述がありますが、国の施策を否定するような文章表現は改めた方が良いと思います。 【P. 24 配偶者対策】 ○将来像のところに、「第三者への農業経営継承等により…」という記述がありますが、この記述はP. 27 の「課題(3) 新規就農者への支援（農外参入者）」に対応した内容なので、削除すべきではないでしょうか。 【P. 31 農地の移動・集積】 ○「北海道立総合研究機構農業試験場」→「北海道立総合研究機構十勝農業試験場」に修正してください。 ○「…耕地面積（農地）は減少しないとされています。これは既存農業者の規模拡大意向が強いことを意味し…」という記述がありますが、この理解は間違っています。十勝農試が実施した予測は、将来における各市町村の経営耕地面積が現状と同じ面積で推移するということ仮定をおいた上で、2020 年以降の農家 1 戸当たり平均経営耕地面積を推計したにすぎません。
委員	堀内 正洋	意見なし。
合 計	6 名	3 名 14 件